

平成22年 農作物生育概況

1 水稲（農業試験場）

育苗期から移植期にかけて、平年より低温で推移し、苗の生育は緩慢であった。移植期以降も6月中旬まで低温で推移したことから、苗はやや徒長し、分けつは平年よりやや少なくなった。

出穂期は、6月上旬まで低温で推移し生育が抑制されたものの、6月下旬以降、平年よりやや高温となり、7月下旬以降は日照時間も長かったことから、平年並となった。m²当たりの穂数は、分けつが少なかったことから、やや少なくなった。一方、1穂当たり粒数は補償作用によりやや多く、m²当たり粒数は、平年並となった。

登熟は、出穂期以降、成熟期まで晴天が続き、平年より著しく高温で推移したことから、障害を受けたものの、ほぼ平年並に進んだ。

県平均収量は491kg/10aで、作況指数は99の「平年並」であった。水稲うるち玄米の検査等級は12月31日現在で、1等：20.4%、2等：65.6%、3等：11.8%、規格外：2.2%であった。2等以下の格付理由は、心白粒、腹白粒：47.5%、整粒不足：17.8%、カメムシ：12.4%、形質その他：11.3%、着色：3.8%、その他：7.2%であった。

主な病害虫の発生状況は以下のとおりである。

- ・葉いもち：全般的に発生量は、平年よりやや少なかった。発生面積 3,914ha。
- ・穂いもち：全般的に発生面積および発生穂数は平年よりやや少なかった。発生面積 1,617ha。
- ・紋枯病：早期栽培では発生は平年よりやや少なく、普通期栽培では平年よりやや多かった。発生面積4,745ha。
- ・縞葉枯病：全般的に発生は、平年並であった。発生面積 779ha。
- ・セジロウンカ：6～8月の飛来量は平年より多く、本田での発生も平年より多かった。発生面積 7,650ha。
- ・トビロウンカ：全般的には、飛来量は平年並で、本田での発生もほぼ平年並であった。発生面積2,737ha。
- ・ニカメイガ：近年、少発生傾向が続いており、発生が認められなかった。発生面積 0ha。
- ・コブノメイガ：全般的に発生量は、平年より多かった。発生面積 7,150ha。
- ・斑点米カメムシ類：本田での発生は平年並みであった。発生面積 1,633ha。

2 野菜

1) 野菜(農業試験場)

春は雨が多く気温の低い時期と雨が少なく気温の高い時期が繰り返し現れ、寒暖の差が激しく最低気温の低い日が多く推移した。梅雨の降雨は後半に集中し、7月下旬～9月下旬にかけて雨が降らず暑い日が続いた。10月上旬には秋雨前線の影響で降雨日が続いたが、気温の高い傾向が10月末まで続いた。施設のナスやピーマンなどの果菜類では、夏期の高温乾燥による品質低下がみられた。長期促成作型ミニトマトでは収穫期間短縮化や3～5日目程度までの花飛びや着果不良がみられた。また、露地のトマトやキュウリなどの夏秋どり果菜類については収量が少なく、高温による糖度低下等品質低下が問題となった。中山間地のシシトウガラシの曲がり果の発生は高温乾燥下であったがにもかかわらず少なかった。露地葉菜類は定植期の高温により初期生育が悪く年内収量は少なく、年明け以降低温、小雨傾向で推移したため1～2月採りの作型では収穫時期や生育が大幅に遅れ、減収傾向であった。イチゴは、8～10月の気温が高く推移したため、頂果房、第2果房の花芽分化が遅く、年内収量が少ない傾向であった。

2) エンドウ（農業試験場暖地園芸センター）

露地の夏まき年内どり栽培では夏期の高温により発芽不良、初期生育不良等が発生した。10月上旬の雨

でハウス栽培では根傷み等が発生し、草勢が弱り、出荷時期が遅れた。キヌサヤエンドウでは秋期からウイルス病の発生が認められた。12月下旬からは低温が続き、ウスイエンドウではハウス栽培の一部で品質不良莢（空気莢）の発生がみられた。露地栽培では、降雪や霜の被害が発生した。

3 花き

1) スプレーギク（農業試験場）

4月中～下旬は平年よりも低温となったが、春季～夏季の生育は比較的順調であった。8月中旬～10月下旬は、例年になく気温が高温で推移したため、9月彼岸出荷の作型では、開花の遅れが懸念されたが、やや開花が遅れた程度ではほぼ計画通り開花した。11～12月は晴天が続き、生育は順調であった。1～3月は平年に比べて低温と曇天の日が多かったため、開花がやや遅れたものの、3月彼岸出荷の作型では、比較的順調に開花した。

2) 花壇苗（農業試験場）

8月下旬～10月下旬は平年よりも高温で推移したため、8月中旬に播種するパンジーをはじめ秋出荷の花壇苗は、発芽揃いは比較的良好であったものの、育苗中の枯死や生育の遅れがみられた。この影響で鉢上げ後の生育も平年に比べて劣った。

3) ストック、切り花ハボタン（農業試験場）

8月中旬に播種したストックは、発芽は良好であったものの、その後高温が続いた影響から、苗の生育が遅く定植は10日程度遅れた。定植後は比較的順調に生育した。8月中旬～下旬に定植した切り花ハボタンでは、9月中旬～10月中旬頃までコナガ等の発生が多かった。10月下旬までは高温で推移したが、11月からは気温が低下し、順調に着色が進んだ。

4) スターチス、シュッコンカスミソウ（農業試験場暖地園芸センター）

スターチスでは夏期の高温の影響のため、一部でディバーナリが発生し、11月までは収量が減少した。12月に入ると回復してきたが、施設内気温を低温で管理する生産者が多いこともあり、年末からの低温の影響を受け、年明けからの収量は減少した。2月に入って気温の上昇とともに生育は回復してきた。冬期の降水量が少なく、灰色カビ病の発生は少なかった。

シュッコンカスミソウは高温の影響は少なく、12月までは比較的順調に生育したが、年末からの低温で生育の遅れがみられた。

4 果樹

1) カンキツ（果樹試験場）

(1) 温州ミカン

気温は平年と比べて、2月下旬から3月上旬は高く推移したが、3月下旬に極端な低温となり、その後4月上旬まで平年並であった。4月下旬は平年と比べて低くなり、その後5、6月は平年並で推移した。降水量は2～7月まで平年と比べて多く、8、9月は大幅に減少した。

場内の定点調査では、発芽期についてゆら早生は4月7日で平年と比べて2日遅く、田口早生、興津早生は4月6日でそれぞれ平年並であった。向山温州、林温州は4月7日とともに平年と比べて2日早かった。展葉期についてゆら早生は4月23日で平年並、田口早生は4月25日、興津早生は4月26日、向山温州は4月27日で、それぞれ平年と比べて1～2日遅かった。林温州は4月23日で平年と比べて4日早かった。

各品種の開花について、開花初期は5月9～12日で平年と比べて5～6日遅かった。開花盛期は5月15～16日、開花終期は5月20～21日で、全体的に平年と比べて約一週間遅かった。開花期間は9～11日間で、早生

は平年と比べて約2日長く、普通温州では平年並であった。

生理落果のピーク時期についてゆら早生、興津早生、林温州は6月1～5日で平年と比べて遅い傾向であった。

果実肥大について、全体的に平年と比べて大きかった。特に10月上旬以降果実肥大が大幅に進んだ。

果汁中の糖度について、各品種で8月上中旬まで平年と比べて低い傾向であったが、9月上旬以降高く推移した。

果汁中のクエン酸含量について、各品種で平年と比べて高く推移したが、興津早生、向山温州で11月に大きく減少し、11月上旬から平年並～やや高く推移した。

(2) 中晩柑類

発芽期について清見、不知火、はるみは4月5～7日で平年並であった。せとかは4月5日で平年と比べて4日早かった。展葉期も同様の傾向で、清見、不知火、はるみは4月23～26日で平年並、せとかは4月30日で平年と比べて4日早かった。

開花初期は全体的に遅れ、清見は5月14日、不知火、はるみは5月16日、せとかは5月18日であり、それぞれ平年と比べて6日、7日、6日、10日遅かった。開花盛期も同様の傾向で、清見は5月18日、不知火、はるみは5月21日、せとかは5月22日であり、それぞれ平年と比べて6日、7日、6日、10日遅かった。開花終期も同様の傾向であり、全体的に6～10日遅かった。開花期間について、清見は8日間で平年並であった。不知火は10日間で平年と比べて1日短かった。はるみは10日間で平年と比べて1日長かった。せとかは9日間で平年並であった。

果実の肥大について、清見は平年と比べて大きく推移した。不知火、はるみは7月から平年と比べて小さく推移したが、10月中旬以降平年並に推移した。せとかは平年並に推移したが、10月以降平年と比べて大きく推移した。

果汁中の糖度について、清見、不知火、はるみは平年並に推移した。せとかは平年と比べて高く推移した。

果汁中のクエン酸含量について、清見は平年と比べて高く推移した。不知火は9月以降平年と比べて高かったが、12月中旬以降平年並に推移した。はるみも10月中旬以降平年並に推移した。せとかは9月以降平年と比べて高かったが、11月中旬以降低く推移した。

本年は12～1月の低温により、はるみ、せとかの果実で凍害が見られた。

2) 落葉果樹

(1) カキ (かき・もも研究所)

研究所内での平均気温は1月が平年並、2月は上中旬で平年並みであったが、特に2月下旬～3月上旬は、平年より5～7℃程度高く推移したため、発芽期は「刀根早生」で平年より10日、「平核無」で12日、「富有」で6日早かった。また、展葉期は「刀根早生」で平年より10日、「平核無」で11日早く、「富有」で6日早かった。3月下旬～5月の平均気温は平年を下回ることが多く、開花盛期は「刀根早生」、「平核無」で平年より1日遅く、「富有」は4日遅かった。

那賀地域、伊都地域の着花量調査では、新梢に占める着蕾枝の割合は「刀根早生」で56～67%、「平核無」で51～58%、「富有」で65～77%で過去2カ年の同調査結果と較べて5～14%程度少なかった。

本年は3月27日早朝の低温により、産地では「刀根早生」や「平核無」で凍霜害による甚大な被害を受けた。

6、7月の平均気温はほぼ平年並であり、降水量はそれぞれ平年比96%、192%であった。日照時間はそれぞれ平年比76%、79%と少なかった。

8～10月の平均気温は平年より高く推移した。特に8月中旬～9月中旬は平年より1～3℃高く、同時期の

最高気温は3～5℃高かった。また、降水量は8、9月は、それぞれ平年比47%、49%と少なかったが、10月は平年比146%と多かった。

このような気象条件の中、研究所内での果実肥大は、「刀根早生」、「平核無」「富有」で7月は横径、縦径とも平年に比べてが約2mm小さかった。「刀根早生」では8月以降は平年並になったが、9月15日以降再び平年を下回った。「平核無」、「富有」は、8月以降平年より1～2mm大きく推移したが、10月以降は平年並となった。また、果実の着色は夏季高温の影響で「刀根早生」、「平核無」、「富有」で1～2旬遅く、収穫盛期は平成元年以降で最も遅かった。

収穫最盛期の果実糖度は、「刀根早生」で14.8%「平核無」で15.7%、「富有」で16.6%と平年並であった。果実重は、「刀根早生」では262g（平年比107%）、「平核無」276g（同108%）であり、「富有」では295g（同101%）とやや大きかった。

病害虫の発生については、虫害ではカメムシ類の被害が7月頃から紀北地域の山林近接園で被害がみられ、病害虫発生予察注意報が発令された。ハマキムシ類の被害果は6月からみられはじめ平年よりやや多く、フジコナカイガラムシ、カンザワハダニの発生は平年並であった。病害では、角斑落葉病の発生が平年よりやや多く、うどんこ病、炭そ病の発生は平年並であった。

（2）モモ（かき・もも研究所）

自発休眠明け後、3月中旬まで平均気温が平年並～平年より高く推移したため、発芽期は平年より2週間程度早く、その後も花蕾の発育が進み開花始期は平年と比べて「白鳳」で4日、「清水白桃」で6日早くそれぞれ3月26日、22日であった。しかし、3月下旬には平均気温が平年より2.2℃低く、開花が停滞した。開花盛期は「白鳳」で平年より5日早い3月31日、「清水白桃」で平年より7日早い3月27日であった。開花期間は「白鳳」では12日で平年より3日長く、「清水白桃」では15日で平年より5日長かった。

4月中下旬の平均気温は平年より低く推移したため、初期の果実発育が遅れた。5、6月は平均気温が平年並みに推移し、降水量も多かったことから、硬核期以降の果実肥大が進んだ。

収穫盛期は「白鳳」で平年より3日遅い7月12日、「清水白桃」で平年より2日遅い7月26日であった。果実成熟日数は「白鳳」で平年より5日長く、「清水白桃」で平年より6日長かった。収穫時の果実重は「白鳳」で305g、「清水白桃」で365gと平年より大きく、糖度は「白鳳」で12.1%と平年よりやや低く、「清水白桃」で13.8%と平年より高かった。

所内での収穫時の核割れ果率は、「白鳳」で55%、「清水白桃」で78%で前年より多かった。「白鳳」、「清水白桃」とも渋味果の発生は少なかった。

せん孔細菌病は、4～5月にかけて強風を伴う降雨日数がやや多かったため、紀ノ川沿い等の風当たりの強い園地では発生が多かったが、県内平均の発病果率は5.8%（平成2～21年の平均値は7.0%）と平年並みであった。シンクイムシ類は7月から新梢への加害が見られたが、新梢および収穫果の被害は平年並であった。モモハモグリガは5月から被害葉がみられ、発生面積率は40%（平成8～21年の平均値4.6%）と広域に発生が認められた。カンザワハダニ等のダニ類の発生は7月から見られ、平年よりやや多かった。

（3）スモモ（かき・もも研究所）

所内の「大石早生」の開花盛期は3月18日で平年より11日早かった。収穫盛期は6月21日で平年より4日遅く、果実重は86gで平年よりやや大きく、糖度は11.3%で平年並であった。

（4）ウメ（うめ研究所）

うめ研究所における「南高」の開花始期は2月8日、開花盛期は2月18日、開花終期は2月24日であった。開花始期、開花盛期は前年に比べ10日程度遅く、平年並みであった。発芽期は3月18日で、3月上旬の気温が高く推移したため、平年より5日程度早まった。

農作物生育概況

主産地での開花期間中の気候は、低温や降雨日が多く、ミツバチの活動が鈍かったため、受粉はやや不良であった。

4月上旬の着果数は、凍霜害による落下が多かったことや結実不良から、主産地では前年並びに平年に比べ6割程度で、かなり少なかった。

果実の生育は、開花期以降の降水量が多く、着果が少なかったことから果実肥大は良好であった。特に、梅干し加工用の完熟果実は、肥大後期の降雨が多かったことから、大玉傾向となった。

うめ研究所における「南高」の青梅収穫期は、始期が6月11日、盛期が6月14日、終期が6月17日で、前年とほぼ同時期であった。

収穫量は、果実肥大は良好であったものの、開花期の受粉不良や凍霜害などによる落下により着果数が大幅に減少したため、前年比79%と大幅に少なくなった。

収穫後は8月下旬～9月中旬にかけ小雨傾向で推移したため、一部に葉のしおれ等がみられた。落葉期は、12月上旬で平年並みであった。

病害虫の発生については、果実生育期に降雨や強風の日が多かったことから、かいよう病、すす斑病の発生が多くみられた。害虫ではノコメトガリキリガ、ウメシロカイガラムシが園地により、またアメリカシロヒトリが一部地域で発生がみられた。

気象被害については、3月26～27日、また4月25日の降霜、低温により、幼果の枯死や低温障害果が多発し、落果も多くみられた。また、5月23～24日にかけての強風により、田辺市、みなべ町周辺地域で収穫前の果実が一部落下したり傷がつく被害が発生した。

平成22年半旬別気象表

観測地点:和歌山県果樹試験場うめ研究所(みなべ町東本庄)

平年値:平成16年~平成21年平均値(但し、1~3月は平成17~21年)

※欠測は、気象観測装置の故障による

項目		平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)	
月	半旬	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	1	欠測	6.3	欠測	10.2	欠測	3.0	欠測	7.6	欠測	23.9
	2	欠測	6.1	欠測	10.2	欠測	2.3	欠測	8.2	欠測	21.4
	3	欠測	6.2	欠測	10.5	欠測	2.3	欠測	17.9	欠測	21.1
	4	7.1	6.5	13.4	10.5	1.3	2.9	1.0	11.6	34.5	20.3
	5	7.0	5.4	11.4	9.1	2.9	2.2	31.0	11.9	23.0	19.6
	6	8.1	7.1	12.4	11.4	4.4	3.2	25.5	13.3	33.1	29.4
月平均・計		7.4	6.3	12.4	10.3	2.9	2.7	57.5	70.5	90.6	135.7
2	1	5.0	5.2	11.9	9.6	4.5	1.6	20.0	9.9	23.6	27.1
	2	9.3	7.1	13.7	11.7	5.2	2.9	14.5	10.9	15.6	24.8
	3	8.0	8.2	11.9	13.0	4.5	3.3	39.0	17.5	14.1	28.2
	4	5.3	7.3	9.4	11.7	1.9	3.4	0.0	23.1	25.5	20.9
	5	11.9	8.4	17.6	13.6	6.9	3.7	3.0	15.8	28.6	28.0
	6	14.1	7.8	17.4	12.1	11.3	4.2	120.5	24.2	10.4	12.1
月平均・計		8.9	7.3	13.7	12.0	5.7	3.2	197.0	101.4	117.8	141.1
3	1	14.1	8.1	16.4	13.0	7.1	3.6	84.5	19.8	17.1	29.2
	2	9.2	9.2	12.8	14.5	6.4	4.4	87.0	14.7	6.9	29.8
	3	11.8	8.4	16.4	13.8	7.1	3.8	27.5	43.7	21.2	26.3
	4	11.1	10.4	16.7	15.5	5.0	5.8	4.0	37.4	26.7	29.5
	5	10.2	11.4	13.9	16.6	6.4	6.3	50.0	33.3	18.8	30.6
	6	7.6	10.6	13.3	15.8	2.5	5.9	3.0	16.1	39.1	37.6
月平均・計		10.7	9.7	14.9	14.9	5.8	5.0	256.0	165.0	129.8	183.0
4	1	13.1	11.9	17.8	17.4	7.8	7.0	35.0	26.4	19.5	29.0
	2	13.9	14.4	19.4	19.9	9.1	9.2	0.0	20.8	33.4	31.2
	3	14.2	15.6	17.8	20.8	11.1	11.1	26.5	33.0	12.1	28.1
	4	12.6	15.6	18.0	21.0	8.2	11.1	28.0	26.0	19.1	27.8
	5	13.8	15.4	18.8	20.8	9.3	10.7	62.0	30.3	31.4	30.7
	6	14.8	16.0	20.3	22.0	9.9	10.4	13.5	11.3	37.8	37.8
月平均・計		13.7	14.8	18.7	20.3	9.2	9.9	165.0	147.8	153.3	184.6
5	1	17.6	18.3	19.9	23.7	10.7	14.2	0.0	34.2	40.4	22.4
	2	18.2	18.8	23.0	23.8	13.5	14.2	70.0	91.3	16.8	25.4
	3	15.1	18.4	19.9	23.7	10.7	13.3	3.0	20.6	28.3	32.8
	4	19.6	18.9	23.8	23.3	15.4	14.8	128.5	36.7	15.5	18.6
	5	20.9	19.9	25.9	25.0	16.2	15.4	73.5	32.2	15.5	29.3
	6	17.5	20.7	22.2	25.9	13.2	16.3	0.5	18.4	33.8	29.1
月平均・計		18.2	19.2	22.5	24.2	13.3	14.7	275.5	233.4	150.3	157.6
6	1	19.9	20.3	26.1	25.1	14.9	16.0	0.0	18.4	37.4	21.0
	2	20.1	21.7	25.3	26.7	15.9	17.8	5.0	22.8	22.9	17.9
	3	21.5	22.1	26.0	27.1	18.2	18.1	41.5	58.2	19.2	20.5
	4	23.6	22.8	26.6	27.4	21.4	19.1	135.5	38.4	14.4	19.7
	5	23.1	23.2	26.9	27.2	20.8	20.4	109.0	88.0	5.3	10.7
	6	25.4	24.8	28.2	28.7	23.4	22.0	32.5	25.3	9.7	12.9
月平均・計		22.3	22.5	26.5	27.0	19.1	18.9	323.5	251.1	108.9	102.7

項目		平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
月	半旬	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7	1	25.7	24.5	26.8	28.8	23.5	22.4	79.5	66.3	12.1	9.8
	2	23.7	24.7	27.4	28.1	20.8	22.4	174.0	106.3	14.2	8.7
	3	25.2	26.0	26.8	29.9	23.5	23.2	52.5	45.0	0.2	21.7
	4	26.5	26.6	31.2	31.2	22.9	23.4	0.0	19.8	44.0	26.1
	5	27.5	26.5	33.6	30.9	22.8	23.3	1.0	34.5	52.6	26.4
	6	26.8	27.1	30.4	32.3	24.2	23.3	50.0	32.4	29.0	36.9
月平均・計		25.9	25.9	29.4	30.2	23.0	23.0	357.0	304.3	152.1	129.6
8	1	28.5	26.7	30.7	31.4	25.6	23.7	0.0	24.5	38.9	28.2
	2	26.4	27.1	31.3	31.9	22.8	23.7	61.5	11.9	17.4	33.1
	3	27.5	27.6	30.7	32.6	25.6	23.8	12.5	3.7	9.8	33.7
	4	28.6	27.5	33.9	32.3	24.7	23.8	0.0	15.2	42.7	28.9
	5	27.6	26.4	32.2	31.4	24.2	22.8	45.0	40.9	36.8	27.1
	6	27.7	26.4	32.4	31.1	24.2	23.0	6.5	30.8	47.0	28.2
月平均・計		27.7	27.0	31.9	31.8	24.5	23.5	125.5	127.0	192.6	179.2
9	1	27.7	25.6	32.6	30.4	24.3	22.3	0.0	22.7	39.3	26.6
	2	27.1	26.0	31.9	30.8	23.6	22.3	5.0	38.3	32.6	30.6
	3	26.5	24.8	31.6	29.6	22.4	21.4	2.0	15.8	33.6	24.8
	4	24.0	24.6	30.1	29.1	19.4	21.2	18.5	16.1	39.8	23.9
	5	23.5	24.0	28.3	28.9	20.0	20.4	34.0	10.8	26.8	25.7
	6	21.0	22.4	25.1	26.6	18.5	19.1	81.0	38.0	23.5	17.7
月平均・計		25.0	24.6	29.9	29.2	21.4	21.1	140.5	141.7	195.6	149.3
10	1	21.6	21.8	26.6	26.0	17.5	17.8	56.0	60.9	29.2	19.3
	2	20.8	20.7	25.8	24.5	16.8	17.7	63.0	57.4	33.1	17.8
	3	21.4	19.7	26.6	24.6	17.5	15.9	0.0	19.6	36.2	31.8
	4	19.8	19.2	23.6	24.1	16.8	15.0	1.5	32.5	16.2	31.0
	5	20.0	18.0	23.9	22.7	17.3	13.7	23.5	13.2	9.2	25.7
	6	15.3	17.2	18.4	21.8	12.3	13.5	100.5	31.8	18.4	29.1
月平均・計		19.8	19.4	24.2	24.0	16.4	15.6	244.5	215.4	142.3	154.7
11	1	13.9	16.0	18.9	21.2	9.7	11.8	0.0	11.1	36.1	29.9
	2	14.4	16.3	18.4	21.0	10.5	12.3	3.0	20.0	22.7	23.5
	3	14.7	15.1	19.9	19.2	9.9	11.4	0.0	44.0	20.6	22.5
	4	11.3	11.5	16.1	15.9	6.8	7.9	2.0	12.6	25.5	24.9
	5	13.5	11.7	17.2	16.5	10.0	7.6	34.5	10.2	21.7	29.4
	6	11.1	12.8	15.5	17.0	6.3	8.9	0.0	9.1	31.8	24.0
月平均・計		13.2	13.9	17.7	18.5	8.9	10.0	39.5	107.0	158.4	154.2
12	1	13.1	10.5	16.5	15.7	7.5	6.4	11.0	29.7	32.1	21.1
	2	10.3	9.4	14.7	14.2	6.6	5.1	0.0	6.3	29.7	25.3
	3	11.9	9.9	16.5	14.5	7.5	5.7	61.5	19.3	18.1	23.3
	4	7.1	7.5	11.6	12.2	3.5	3.5	0.5	1.8	20.0	24.9
	5	8.3	8.1	11.9	13.2	4.8	3.4	28.5	1.8	21.8	21.2
	6	5.3	7.1	9.2	11.4	2.2	3.5	0.0	22.9	18.9	27.9
月平均・計		9.3	8.7	13.4	13.5	5.4	4.6	101.5	81.8	140.6	143.7

2010年半旬別気象図
和歌山県果樹試験場うめ研究所(みなべ町東本庄)

- 降水量 本年
- ▨ 降水量 本年
- 平均気温 本年
- 平均気温 本年
- ▲ 最高気温 本年
- △ 最高気温 本年
- 最低気温 本年
- 最低気温 本年

